

**【卒後2年目教育目標】**

- 1.援助を受けながら、個性・継続性のある看護が展開できる
- 2.チームメンバーの役割を果たすことができる
- 3.主体性・協調性のある行動がとれる
- 4.リフレクションを通して看護について深く考える

回	テーマ	目的	目標	備考
1	オリエンテーション コミュニケーションスキル	1. 年間の研修計画を理解できる 2. 自立的に看護実践ができる	1. 教育目標に沿った行動目標が、立案し行動できる 2. メンバーシップをとりながら責任ある行動をとることができる	
2	ストレスマネジメント	1.自己特性を把握し、人への対応につなげることができる	1.心理テスト(YGテスト)を用いて自己の特性を客観的に把握することができる 2.自己の特性を踏まえ、今後の人への対応について気づきを得る	
3	アセスメント力向上 ローテーション研修 オリエンテーション	1. 患者の全体像を把握し、個別性のある看護展開を考慮し、視点を拡大できる 2.研修部署の看護の特徴をしり、配属部署と他部署との連携の必要性を知る	1. 関連図作成を通して、患者の全体像を把握する 2. グループワークを通して、自己のアセスメントの視点を拡大できる 3.配属部署以外で行われている看護の実際を体験し、学んだことを日常業務に活かすことができる	
4	看護過程の展開	1.患者の全体像を把握し、個別性のある看護展開を考える事ができる 2.基礎看護学研修で学んだことを看護展開に結び付けられる	1.関連図を作成し、個別性のある看護計画を立案する 2.グループワークを通して、患者の病期に応じた看護展開の方法を理解できる	
5	看護を語ろう	1.自己の看護観を知ることができる 2.看護について深く考えることができる	1.心に残った1症例を振り返る 2.グループで共有することにより看護の視野を広げる	
6	まとめ	1.1年間の研修を終えての振り返りができる 2.自己の目標が達成できたか振り返り、3年目に向けての課題を見出すことができる	1.1年間の看護実践経験を振り返り、経験からの学びを深める 2.他者の振り返りを聞いて、自分自身と向き合い、3年目に向けての課題を表現にすることができる	